# 租税戦略 102-12,102-15,102-43,103-1,103-2,404-2

花王は、税の透明性を確保し、各国・地域の税務に関する法令・規則などの遵守を徹底しています。また、適切な税務処理に関する各種教育を行ない、一人ひとりが税務コンプライアンス意識を高めています。

## 社会的課題と花王が提供する価値

### 認識している社会的課題

花王は、OECDによるBase Erosion Profit Shifting(BEPS)プロジェクト等の国際的な取り組みが、税の透明性確保や国際的な租税回避を防止するために重要であると理解しています。たとえば、グループ会社間の国際取引は、機能、資産およびリスクの分析に基づき、その貢献に応じた適切な利益配分を独立企業間価格に基づいて設定するとともに、その独立企業間価格の算定においては、OECD移転価格ガイドラインの遵守に努めています。

### 花王が提供する価値

花王は、企業理念である「花王ウェイ」の基本となる価値観である「正道を歩む」に基づき、法と倫理に則って行動し、誠実で健全な事業活動により、生活を豊かにする社会的価値の創造に貢献し、適切な納税を行ないます。

新興国・発展途上国における事業活動から生じた所得について、現地の課税権を侵害せず、各国・地域の関連法令および規定に則った健全な税務管理を行ない、適切に納税することが各国・地域の経済および社会発展に重要な役割を果たすことになり、すべてのステークホルダーの支持と信頼に応えることにつながると理解しています。

また、事業目的・実態の伴わないタックスプランニングやタックスヘイブンの利用が、各国・地域における適正な税金の納付を阻害する要因であると理解しています。花王は事業目的に沿って海外進出先やグローバルな事業体制を決定することとし、タックスヘイブンを利用する恣意的な租税回避および濫用的なタックスプランニングの防止に努めています。加えて、国際的租税回避のための税務ストラクチャーの利用は行ないません。

### 貢献するSDGs

## 方針

税務コーポレート・ガバナンスの向上をめざし、税務の行動規範、判断基準となる「税務方針」を制定しています。

➡税務方針
www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/about/pdf/governance_004.pdf

## 教育と浸透

花王は、税務コンプライアンス体制が適切に機能するためには、経営層および社員の税務コンプライアンス意識の浸透・定着を進めることが重要であると考えています。

適切な税務処理に関する啓発、教育、各種情報共有や相談を行ない、法令遵守を徹底するとともに、税務リスクの低減に努めています。

## ステークホルダーとの協働／エンゲージメント

花王は、税務当局に対して適時かつ適切な税務情報提供を行ない、誠実に対応することで信頼関係の構築に努めています。税務リスクの低減のために、外部の税務アドバイザーに適時相談し税務処理の適切性について検討しています。

また、業界団体を通じて経済界と協調し、日本企業の国際競争力の強化に貢献する税制改正要望にも取り組んでいます。

## 体制

会計財務部門統括を責任者とし、管理部税務会計グループおよび各国・地域の税務担当者が実務を行ないます。四半期ごとに各国・地域の税務担当者と情報を共有し、現状および将来の税務リスクの把握を行ない問題解決に努めています。定期的に各国・地域の税務問題を収集し現状を把握することで、緊急の税務問題について適時情報が届く体制になっています。加えて、解決方法を外部専門家も交えて連携しながら対応する体制が構築されています。

また、これらの税務問題や税務戦略のうち、重要なものについては、定期的に行なわれている経営会議や取締役会で報告されています。

# 租税戦略 102-13,207-4(租税2019)

## 具体的な取り組み

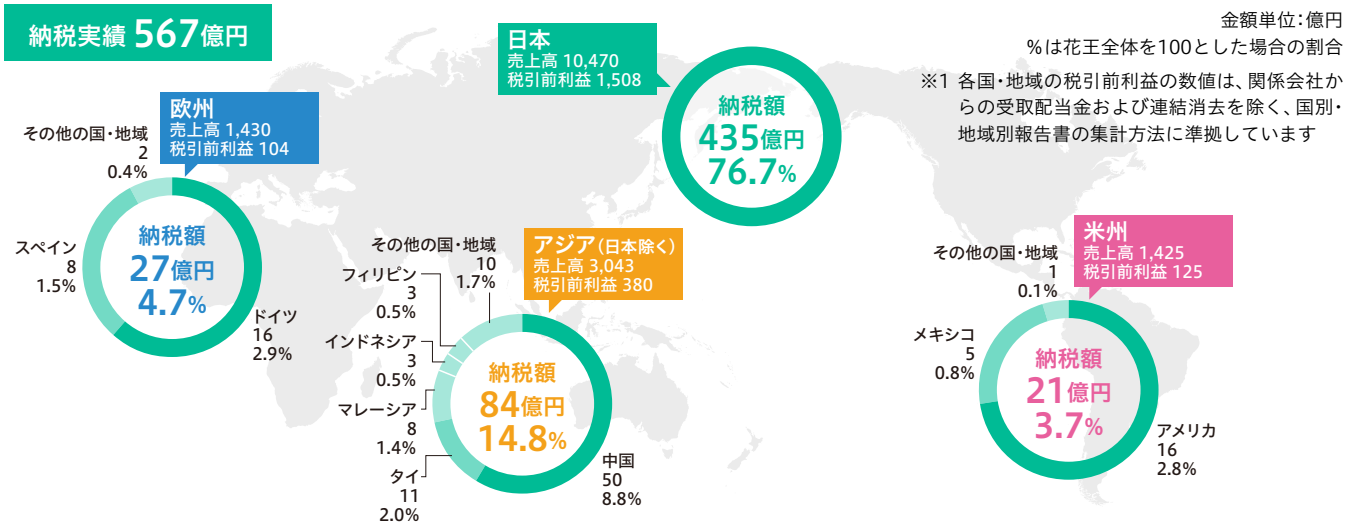
### 経理・財務のグローバルな連携

定期的に、グローバルの経理・財務リーダーを集め会議を開催しています。その中で、各海外子会社の税務担当者とコミュニケーションをとりながら、全社方針の共有や徹底、新たな税務論点の議論を行なっています。

### 一般社団法人 日本化学工業協会との協働

日化協を通じ、税務実務効率化や企業競争力強化に資する税制改正要望に積極的に取り組んでいます。

### 事業実績と納税実績




金額単位:億円
%は花王全体を100とした場合の割合

※1 各国・地域の税引前利益の数値は、関係会社からの受取配当金および連結消去を除く、国別・地域別報告書の集計方法に準拠しています

**2019年度 花王の事業実績と納税実績※1** (単位:億円)

| | 売上高 | 税引前利益 | 納税額 |
|---|---|---|---|
| **日本** | **10,470** | **1,508** | **435** |
| 中国 | 1,074 | 161 | 50 |
| インドネシア | 520 | 30 | 3 |
| タイ | 426 | 48 | 11 |
| マレーシア | 364 | 42 | 8 |
| フィリピン | 299 | 21 | 3 |
| その他の国および地域内消去 | 360 | 78 | 10 |
| **アジア 計** | **3,043** | **380** | **84** |
| ドイツ | 696 | 46 | 16 |
| スペイン | 390 | 39 | 8 |
| その他の国および地域内消去 | 344 | 19 | 2 |
| **欧州 計** | **1,430** | **104** | **27** |
| アメリカ | 1,211 | 113 | 16 |
| メキシコ | 121 | 12 | 5 |
| その他の国および地域内消去 | 93 | 1 | 1 |
| **米州 計** | **1,425** | **125** | **21** |
| 地域間消去 | (1,346) | (13) | |
| **合計** | **15,022** | **2,106** | **567** |

**2019年度 実効税率差異の分析**

| | 法定 | 花王 | 産業平均※2 |
|---|---|---|---|
| 実効税率(法人税等/税引前当期利益) | 30.6% | 28.6% | 26.1% |
| | △2.0% | | 2.5% |
| 試験研究費等の法人税特別控除 | △1.9% | | |
| 子会社の適用税率との差異 | △1.4% | | |
| 繰延税金資産の回収可能性見直し | 0.7% | | |
| 税率変更による影響 | 0.0% | | |
| その他 | 0.6% | | |
| キャッシュ税率(法人税等支払額/税引前当期利益) | 26.9% | 28.0% | |
| | △1.1% | | |

※2 日用品業界

2019年度の花王の実効税率は28.6%でした。法定実効税率との差-2.0%は、日本における試験研究費の法人税特別控除の影響および海外子会社との適用税率の差異に起因するものです。また、RobecoSAM社が発行する産業平均実効税率に対しては2.5%のプラスとなっており、適切な納税を実現していると考えられます。

同様に、納税額を税引前当期利益で除したキャッシュ税率についても、支払いタイミング等の影響があるものの、産業平均に対して-1.1%と適切な水準の納税を実現しています。